
道路燃費マップの事例 (燃料消費量実績データによる分析)

 株式会社 建設技術研究所



<http://www.ctie.co.jp/software/trupro/index.html>

2019.9版

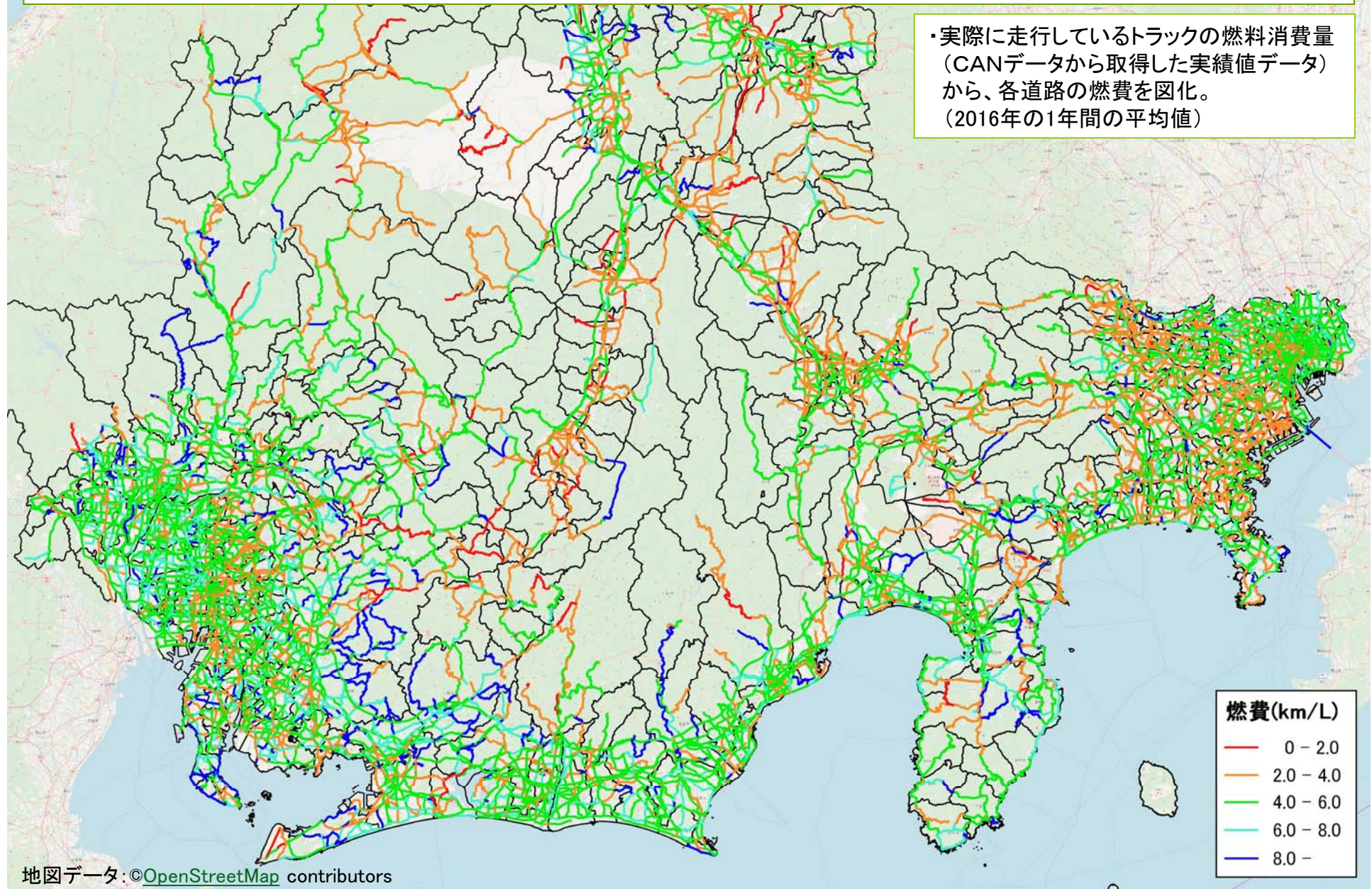
道路燃費マップとは

- 複数あるルートの中から、どの道路を選択するかの指標として、
 - 「所要時間」: いかに早く到着するか (渋滞していないか)
 - 「料金」: いかに安く到着するか (高速道路/一般道路)
 - 「道幅」: いかに安心して走ることができるか (狭くないか)などとともに、
 - 「燃費」: いかに燃料消費を少なく走ることができるかも重要な指標だと言えます。
- 従来、道路の燃費はその道路の平均旅行速度や勾配などを基に、計算値で算出されていることが多い。
↓
- トラプロ®データを用いることで、CANデータに基づく実績値から、道路の燃費を地図上に示したものが、道路燃費マップです。



道路燃費マップの例(2016年データ:東京～名古屋)

・実際に走行しているトラックの燃料消費量
(CANデータから取得した実績値データ)
から、各道路の燃費を図化。
(2016年の1年間の平均値)



地図データ: ©OpenStreetMap contributors

道路燃費マップの例(2016年データ:拡大図)

- ・東京都心に比べて、川崎・横浜の臨港部や多摩地区の燃費があまり良くない



道路燃費マップの例(2016年データ:東京～名古屋)

分析例:

・東京～名古屋間のルートでは、どのルートが燃費が良いか？

⇒東名・新東名の方が中央道よりも良い

⇒一般国道より高速道路の方が良い

⇒山地部(箱根など)では燃費が悪い

